

MAFF NAVI まふナビ

やまがた

【令和7年1月発行】

テーマは「担い手」

農産物販売金額でみた1位部門の経営体数

2020年農林業センサス結果から、山形県の農業経営体を農産物販売金額1位の部門別によると、図1のとおりとなっており、稲作部門が57.0%、果樹類部門が25.9%を占め、上位2部門で県全体の8割以上を占める結果となっています。

また、農産物販売金額1位の部門別経営体数の推移を、2005年センサスを100とした場合でみると図2のとおりで、経営体数が増加した部門は露地野菜部門のみで、経営体数の多い稲作部門は、2005年当時から約5割、果樹類部門は約3割減少しています。

図1 農産物販売金額1位部門の経営体数割合

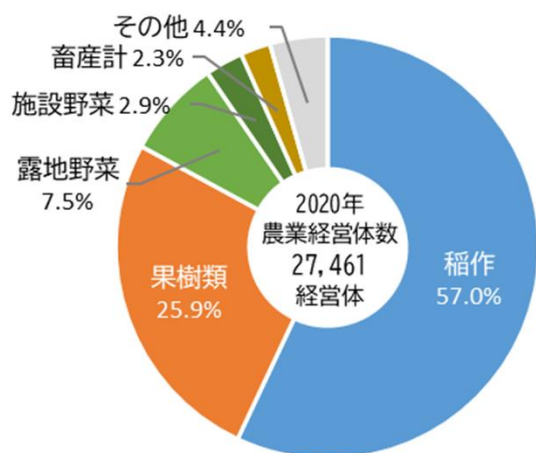
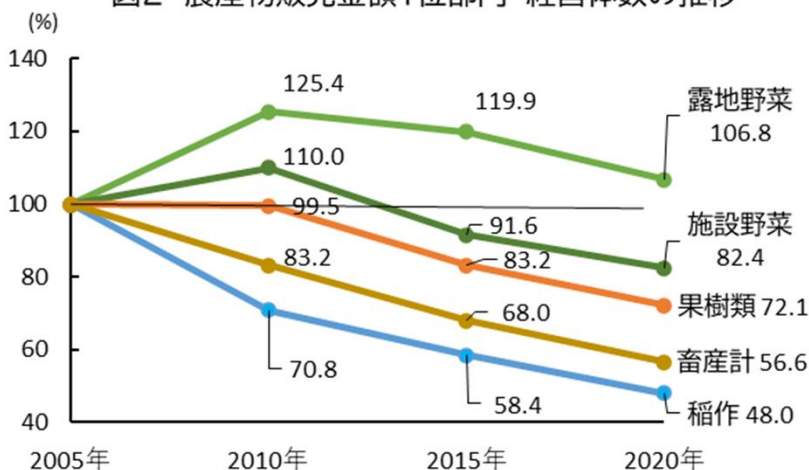


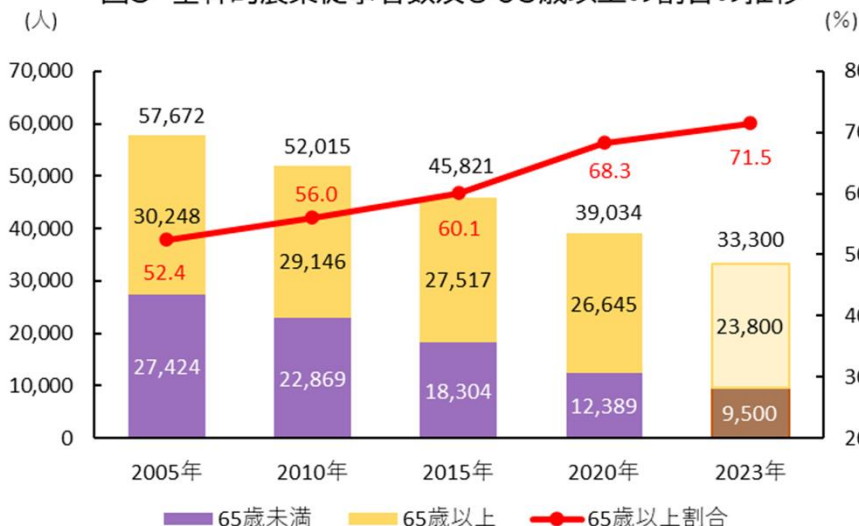
図2 農産物販売金額1位部門 経営体数の推移



基幹的農業従事者の推移

基幹的農業従事者（個人経営体における15歳以上の世帯員のうち、ふだんの仕事として主に自営農業に従事している者）は、2020年農林業センサスでは3万9,034人で、2005年調査時と比較すると、1万8,638人（32%）減少しております。一方、65歳以上の割合は年々上昇を続け、直近では7割に達しています。

図3 基幹的農業従事者数及び65歳以上の割合の推移



※2005年から2020年までは、農林業センサス結果。
2023年値は農業構造動態調査結果より。



基幹的農業従事者の年齢構成(農産物販売金額1位部門別)

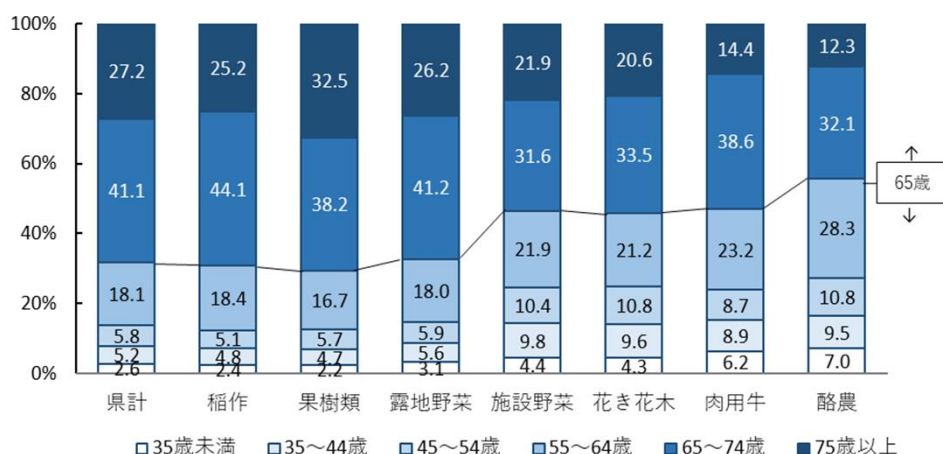
2020年農林業センサス時の基幹的農業従事者数の平均年齢は67.0歳でした。

部門別の平均年齢をみると、果樹類部門が最も高く68.3歳、次いで稲作部門が67.1歳と高く、逆に酪農や肉用牛といった畜産部門の平均年齢が比較的低くなっています。

表1 部門別の基幹的農業従事者数
及び平均年齢(2020年)

部門	基幹的農業従事者数 (人)	平均年齢 (歳)
稲作	19,399	67.1
果樹類	11,409	68.3
露地野菜	3,619	66.6
施設野菜	1,619	63.0
花き・花木	747	62.9
肉用牛	583	62.0
酪農	399	60.3
ほか	1,259	-
計・平均	39,034	67.0

図4 基幹的農業従事者の年齢構成(部門別)



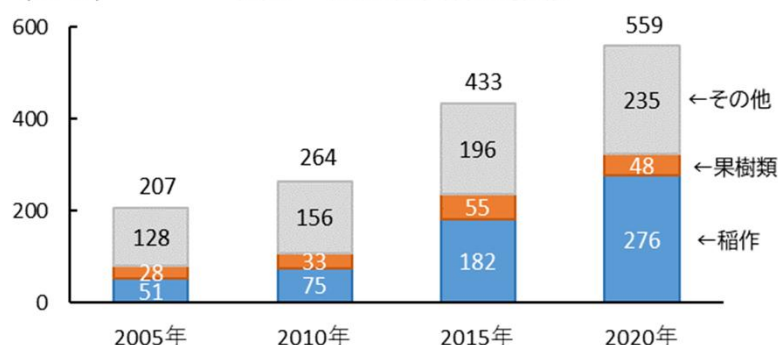
法人経営体の推移

2020年農林業センサス時の法人経営体数は559経営体で、2005年時の2.7倍に増加しています。

特に農産物販売金額1位が稲作部門の経営体が5倍以上と大幅に増加し、果樹類部門は1.7倍に増加しています。

(経営体)

図5 法人経営体の推移

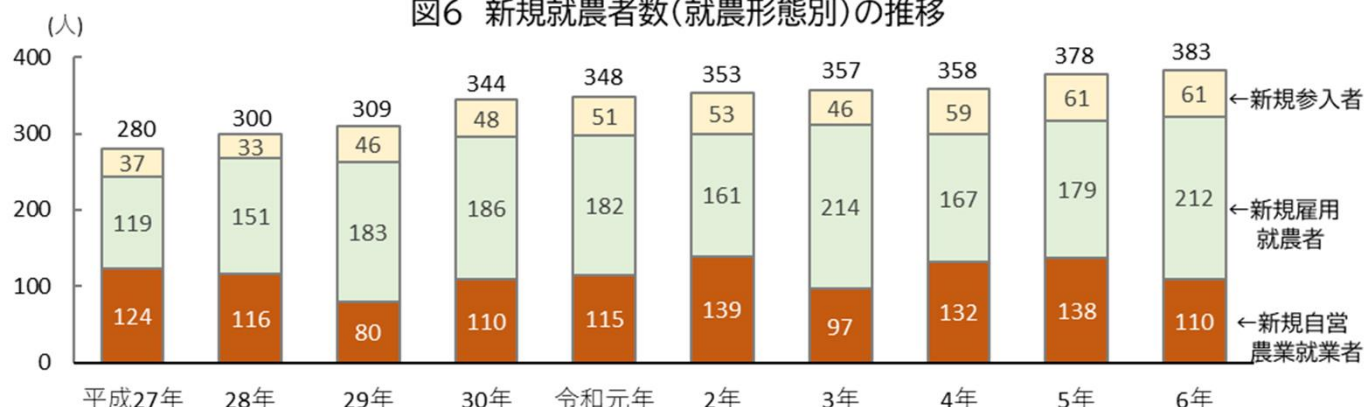


新規就農者の動向

山形県の新規就農者数は、平成27年以降増加を続け、令和6年は383人でした。

就農形態別にみると、新規自営農業就業者は110人、新規雇用就農者は212人、新規参入者は61人となっています。

図6 新規就農者数(就農形態別)の推移



出典: 山形県農林水産部

統計データを活用した分析支援
やご相談を受け付けています。
お気軽にご相談ください。

---お問合せ--- 東北農政局山形県拠点地方参事官室
分析担当
電話: 023-622-7235